



『私とスポーツおよび福山市スポーツ協会』



福山大学学長 大塚 豊

「何かスポーツとの関わりを」と本誌に執筆を求められ、わが人生を振り返って見ると、本気でスポーツに汗を流したのは中学生の頃まで。9人制のバレーボール部に所属し、課外にひたすら頑張ったのを思い出すくらいです。昭和30年代末は未だ昭和の根性論全盛の時代。ご多分にもれず、わが中学でも真夏の炎天下にもかかわらず水分補給などしないで頑張るのが持て囃されていました。よくまあ当時の言葉では「熱射病」にもならずに、真っ黒に日焼けして励んだものだと思います。高校からは一転、文系クラブに宗旨替えして演劇や英語でお茶を濁し、ほぼ「帰宅部」状態で過ごし、それが後期高齢者目前の現在まで続いている。主治医に血圧を下げるには適度の運動が一番と繰り返し諭されながらも、やはり「分かっちゃいるけど・・・」の日々です。身体を動かすのは、駅で朝晩の電車の待ち時間に行うスクワットや首の運動くらいなもの。観るほうはと言えば、広島人よろしく、カーブやサンフレッヂ、最近ではドラゴンフライズも人並みに眺める程度でありながら、優勝が絡むような大事な局面が訪れた途端に「にわか熱烈ファン」に豹変する、何とも誇れたものではないスポーツとの関わりです。

このように個人的にはスポーツと縁遠い身だからこそ尚更なのでしょうが、スポーツに勤しむ人、それを支える人や活動には最大級の敬意を払います。福山大学は経済学部にスポーツマネジメントコースを設置しています。所属の学生は経済学の専門性を活かしつつ、スポーツ業界の特徴について理解を深め、スポーツ関連企業の経営に関して市場規模や株価指数などを基に考察を行い、さらにスポーツ活動の運営の在り方も学びます。国内はもとより、アメリカや韓国など海外の関係団体を訪れて知見を広げる研修機会を設けているのも特徴でしょう。同コースの教員・学生は地元のスポーツ振興にも一役を買っており、例えば、柔道を通じて障害のある人の成長を促す活動などにも積極的に関わっています。さらに、サッカー、野球、弓道、柔道など各種スポーツの課外活動も盛んで、本学はその支援にも力を入れています。こうした本学をめぐるスポーツとの関わりを考えるとき、福山市スポーツ協会との関係を抜きにはできません。2023年5月には協会と本学および兄弟校の福山平成大学との間で連携協定が締結され、スポーツ振興に関連したノウハウの提供や人材の育成、スポーツを通じた地域活性化の推進において、従来以上の提携・協力をしていく約束を取り交わしました。協会理事長や相談役を長らくお務めになり、そして本学理事でもあった公益財団法人天野スポーツ振興財団の故天野肇理事長から賜った数々のご恩に報いるためにも、地域スポーツの振興に励みたいものです。

『第43回ふくやまマラソン』(3月16日(日))について

2025年(令和7年)1月7日までの申込期間を1月13日まで延長し、申し込みを締め切りました。最終参加者数は次のとおりです。

競技用車いす	ハーフ	ウォーキング	10km	3km	2.5km	合計
18人	1,257人	284人	1,124人	577人	879人	4,139人

ゲストランナー: JFEスチール競走部(2名)／銀河学院高等学校陸上競技部女子(6名)

インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024

2024年(令和6年)11月16日(土)・17日(日)開催

昨年度、東広島市をメイン会場に初めて開催されたインクルーシブ・スポーツ・フェスタが、2024年(令和6年)11月16日(土)と17日(日)の2日間、第2回として福山市のエフピコアリーナふくやまを中心として神石高原町、尾道市、庄原市そして府中市でそれぞれ開催されました。

このフェスタは、公益財団法人福山市スポーツ協会の菅田会長が実行委員長を担い、誰もが楽しめるスポーツに親しみ、参加者の中から一人でも多くの方がスポーツをするきっかけになるとともに、共生社会の実現に向けて開催されたものです。

16日の開会式では、湯崎県知事をはじめ、福山市から枝広市長、近隣市町の首長など多くの関係者にご出席いただき、開会式終了後は、本フェスタに参加いただいたゲストの方々とボッチャのエキシビジョンマッチも行いました。17日には、ボッチャ、車いすバスケットボール、車椅子ソフトボール、モルック体験など多くのスポーツを体験していただき、成功裡に終了することができました。

福山市の取り組みとして、シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテンの根木慎志さん、日本財團パラスポーツサポートセンターから「あすチャレ！」講師の山本恵理さんをお招きして、モルック体験会、車いすバスケットボール指導、あすチャレ！研修を行い共生社会の実現の取り組みに向けた第一歩となったものと考えています。

このイベントを契機に、公益財団法人福山市スポーツ協会においても、スポーツでインクルーシブ、ユニバーサルな世界を目指すため、取り組みを加速してまいります。



[ギソクの図書館]



[やり投げ(ジャベリックスロー)]



[車椅子ソフトボール]



[パラクライミング]

2025 ふくやまユニバーサルスポーツフェスティバル

2025年(令和7年)2月23日(日)開催



2025年(令和7年)2月23日に2025ふくやまユニバーサルスポーツフェスティバルを開催しました。今回のフェスティバルは主にパラスポーツやニュースポーツを体験してもらい、スポーツの裾野を広げることを目的としています。将来的には、裾野を広げていくことで、アスリートの発掘・育成に繋げていくことも視野に入れて事業展開を行いました。

今回のフェスティバルは、柔道・モルツボル・車いすバスケットボール・車いすダンス・車いすソフトボールの各体験をメインに、北京パラリンピック柔道に出場された初瀬勇輔様、昨年のパリパラリンピックで金メダルを獲得された瀬戸勇次郎選手、シドニーパラリンピック車いすバスケットボールに出場された根木慎志様、アテネパラリンピック車いすバスケットボールに出場された三宅克己様、車いすダンスのFlavary ASUKA様をゲストにお迎えし、みんなのたかみちさんのMCで進めていきました。



[昨年、第2回目の2024ふくやまユニバーサルスポーツフェスティバル開催風景]

学区体育会活動報告

神村学区体育会

神村学区体育会は1964年より体育振興会として立ち上げ現在に至ります。本会の目的を学区民の健康増進、体位向上・体育思想の健全な発達に努め体育文化の発展に寄与することとし、併せてスポーツを通して学区民の親睦を図るとともに、地域の子どもたちは地域で育てることをモットーに活動しています。学区内の地区対抗大会には町民体育大会、ソフトボール、バーボール、ソフトバーボール、卓球、駅伝の各大会を実施しています。さらに、松永地区体育会、福山市スポーツ協会主催の大会にも積極的に参加し好成績を収めています。

一方、より顕著となってきた高齢化、少子化といった問題を抱える中で、今年度の学区町民体育大会は、得点種目を減らし子どもから高齢者まで参加できる一般競技に重点を置き、かつ終了時間を早めるプログラムで開催しました。その一つに参加希望者の中から世代別に無作為に組んだチームで、保育園児からスタートし小学生各学年、10代から60代まで協力してバトンをつなぎゴールする競技（写真参照）を実施。得点種目からリレー競技がなくなる中で参加者から良かったという感想をいただきました。

また、本会各専門部の定例活動では毎回子どもたちも参加して練習を行っています。今では育った子どもたちの中から指導員として協力してくれるメンバーもいて頼もしい限りです。近年では、資源回収、はきもの資料館協働事業など地域活動にも参加をしており、これらのスポーツを含めた多面的な取り組みにより学区の活性化に努めています。



[町民体育大会]



[町民体育大会]



[ソフトバーボール大会]



[町内一周駅伝大会]

本郷学区体育会

本郷学区は、昭和25年に「体育協会」として設立され、以来、学区民の体力・健康増進と住民の親睦、地域活性化のために様々なスポーツ事業を行っています。専門部としてソフトボール部、バーボール部、ソフトバーボール部、陸上部、グラウンドゴルフ部、フットベースボール部の6部を中心とした事業を運営しています。継続して開催している事業は、年度初めに小学校と合同で「町民体育大会と小学校スポーツフェスティバル」。地域対抗競技としてソフトボール大会、ソフトバーボール大会、町内一周駅伝大会を開催。また、町民誰もが気軽に参加でき楽しめる事業としてグラウンドゴルフ大会、町内史跡を巡りながらノルディックウォーキング、参加者が自分の生活に合わせて継続して取り組めるウォーキングチャレンジ、学区イベント会場で体力測定コーナー設置などを行っています。最近は学区の様々なスポーツ行事に青年層に代わって児童生徒の参加が増えており、特に安全管理が求められています。今後とも、学区民誰も気軽に楽しく参加できる事業に取り組み、スポーツ活動による地域活性化を図ってまいります。



[ソフトバーボール大会]



[町民体育大会]

学区体育会活動報告

東村町体育会

東村町体育会では、小学校の廃校や新型コロナウイルスの感染拡大により、地域住民が顔を合わせる機会が減少していく中で、体育会活動が地域住民の交流を生み出し、住民同士で支え合うまちづくりの一助になればという思いを持って、ソフトバレー や卓球、グラウンドゴルフなどのスポーツによる健康づくりや、普段顔を知らない人同士が交流する機会の創出に取り組んでいます。

特に、町民運動会はこれまで小学校の運動会と一緒に開催していましたが、小学校廃校に伴って実施方法の見直しを迫られました。町民運動会を何のために開催するのか、これまでの実施方法から何を改善すべきかなどを役員で意見を出し合い、これまでの地域対抗種目を廃止し、誰もが気軽に参加でき、スポーツを楽しむことができる形で町民運動会を開催することとしました。

当初は、どれだけの人が参加してくれるのか不安はありましたが、これまでの運動会以上の参加があり、参加された人の笑顔や元気な声にあふれた運動会が開催出来ました。今後も、町民にとってスポーツが単なる運動競技ではなく、楽しみながら様々な世代の人と交流する機会となるよう、体育会としての活動を進めていきたいと思います。



[町民運動会]

今津体育会

今津体育会は、2021年に東村小学校と今津小学校が統合により遺芳丘小学校となり、今津学区体育会より今津体育会と名称変更となりました。今津体育会は、1949年（昭和24年）より2024年で、75年の歴史がございます。

今津体育会では、スポーツを通じて交流・親睦を深める活動として年間行事を5月にソフトボール大会、7月にバレーボール大会、10月に町民運動会、11月にグラウンドゴルフ大会、12月にソフトバレー ボール大会、1月に今津一周駅伝大会を実施しております。町内にとって年間の大イベント10月の町民運動会では、通年とは違い1日事業を半日事業として、新しい取り組みに挑戦をしてみました。その結果種目内容も充実して、大成功に終えることができました。その他特に現在では子ども達の育成を目的として体力向上・人と人とのコミュニケーションの大切さを目標に陸上教室を年間を通して実施しております。

結果はすぐには望まなく、地道に指導して参ります。

近年では、役員の高齢化に伴い町内組織まちづくり推進委員会と協力して町内全体にて、行事運営に努めています。

今後行事参加者の増加、役員の継承及び地域の活性化に努め参りたいと思います。



[グラウンドゴルフ大会]



[ソフトバレー ボール大会]



「ふくやまスポーツアカデミー2024」 が開催されました



今年度のふくやまスポーツアカデミー2024は、スポーツの習慣化を目指す取り組みを推進するため、「スポーツ×健康」をテーマに開催しました。

今回、スポーツを習慣化することで、健康を意識、保持し、ひいては体力も向上させていくために必要な事業案を検討しているところです。

第1回となった11月9日は、株式会社クラブビジネスジャパン代表取締役社長の古屋武範様に「フィットネス産業が健康づくりにどう寄与できるか？」をテーマに、第2回の11月27日は、一般社団法人教育JAPAN3776地域コンソーシアム代表理事の中島武様に「AIによる介護サービス（AI野々村真）」をテーマに、第3回の12月11日は、笠木ウェルネスクリニック院長の笠木伸平様に「こころの不調には、運動がよい！」をテーマに、第4回の1月15日は、Pilates&Training studioDTS代表の小田島政樹様に「『ピラティス』～カラダとの対話による健康・体力開発メソッド～」をテーマに、第5回の1月25日は、広島大学大学院医系科学研究科客員准教授の松本直子様と広島県地域政策局スポーツ推進課参事の林智子様に「広島県における運動・スポーツの習慣化の取り組み」をテーマに、第6回の2月15日は、株式会社ニーズ創造研究所代表取締役の植田真司様に「これからのお年寄りのウェルネスとスポーツの役割」をテーマにそれぞれ講演いただき、運動の習慣化に向けてグループワークを重ねてまいりました。最後になる第7回の3月1日には、総括として「運動・スポーツの習慣化を促進するためのアイディア」をグループ別に提案していただき、事業化に繋げてまいります。

このスポーツアカデミーは、スポーツ人材育成事業で今後、福山市で活躍していただける方々を養成し、スポーツフォーラムに繋げていくもので、今後もこのような事業を開催するにあたり、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



[第1回の様子]



[第2回の様子]



[第3回の様子]



[第4回の様子]



[第5回の様子]



[第6回の様子]

■ 根木慎志さんに公益財団法人福山市スポーツ協会アンバサダーを委嘱



[本協会の菅田会長と根木慎志さん]

2024年(令和6年)11月16日(土)、本協会が実施する事業並びに活動のPRを行う「公益財団法人福山市スポーツ協会アンバサダー」の委嘱式をエフピコアリーナふくやまで開催し、根木慎志さん(シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテン・日本財団パラスポーツサポートセンター「あすチャレ!」プロジェクトディレクター)を選任し、本協会の菅田会長より委嘱状が交付されました。

根木さんは、「福山市スポーツ協会が実施する事業や活動をたくさん的人に知ってもらえるよう積極的にPRしていきます。」と決意を述べられました。



[委嘱式]

■ 初の国際大会を終えて ～男子パワーリフティング74kg級～

國芳 雅也 選手

私は2024年7月6日から13日の間、南アフリカ共和国で開催された「アジア・太平洋・アフリカ男子パワーリフティング選手権」に日本代表として参加させていただきました。初めての国際大会出場、男子74kg級で優勝することが目標でしたが、スクワット237.5kg、ベンチプレス135kg、デッドリフト252.5kg、トータル625kgで悔しくも3位(2位の選手と合計重量同数、体重差で3位)でした。

南アフリカまでの長距離移動や食や文化の違い等不安要素はありましたが、身体も精神面もコンディションが良かっただけに、ベスト記録が取れなかつたことが大変悔しかったですが、気持ちを切り替えて現在は2025年2月に滋賀県で開催される全国大会(来年度のアジアや世界大会への出場権をかけた大会)に向けて日々トレーニングに励んでいます。パワーリフティングという競技は、スクワット・ベンチプレス・デッドリフトの3種目を持ち上げ、合計重量を競うスポーツです。私が競技を始めたのは高校2年生の頃、サッカー部に所属しており、サッカーが上手く強くなりたいと思い、近くの市営ジムでバーベルトレーニングを始めたのがきっかけです。

日本国内でも競技人口は増えていますが、まだメジャースポーツではありません。パワーリフティングの魅力は、年齢性別問わず誰でも始めれるスポーツであること。私が通っているジムには、小学4年生~77歳の選手がいらっしゃいます。個人競技でありますが、性別や年齢関係なく同じ競技をしてる者同士、競い合うけど、応援し合う、個人競技だけど皆で戦いあっているような温かさ、熱さがあります。

私は今現在パーソナルトレーナーとして福山市内のスポーツジムや、隣接市の高校部活動でのトレーニング指導等を行っています。今後もパワーリフティングやトレーニングを通じて、出会ってくださった方々の身体や人生が豊かになるよう尽力し、近い内に福山市内でのパワーリフティング大会の企画等も考えておりますので、お声がけいただければ幸いです。



第78回・第79回国民スポーツ大会 第23回全国障害者スポーツ大会出場者

国民スポーツ大会 佐賀県

会期前1回目・2回目▶2024年(令和6年)9月5日～9月17日 9月21日～10月1日

○水泳・飛込／監督：内藤直樹 選手：森淵茉莉愛・和田宏太・堀 心童

○水泳・アーティスティックスイミング／監督：大野優月

○体操・競技／選手：久留島一舞 ○サッカー／選手：中島采音 ○セーリング／選手：濱田華帆



国民スポーツ大会 佐賀県

本会期▶2024年(令和6年)10月5日～10月15日

○陸上競技／選手：江原美月優・清水鈴奈・竹堂ゆうみ・三好美羽 ○軟式野球／選手：長谷川和輝

○ウエイトリフティング／選手：羽田真人・中山大一・寄森春樹 ○卓球／選手：中村 廉

○フェンシング／監督兼選手：堀本達郎 ○ソフトボール／監督：日野隼一 選手：土井結葉

○バドミントン／選手：山廣悠斗・工藤大和 ○弓道／監督：林 泰臣 選手：鐘尾恵美子・片山真由子

○スポーツクライミング／監督：延近昌彦 選手：延近陸空斗 ○空手道／選手：今田遙大・井上耀太

○ボウリング／監督：高橋忠夫 選手：井上巧眞・石本美来・門田裕美・石井浩次・尾熊峻太・渡邊 陽



全国障害者スポーツ大会 佐賀県

2024年(令和6年)10月26日～10月28日

○陸上／役員：福田菜美子・佐藤喜子 選手：竹井舞依・佐野絢香

○卓球／選手：吉岡成実 ○フライングディスク／選手：犬飼謙介

○ボウリング／選手：森 日奈野 ○アーチェリー／役員：信岡秀典



国民スポーツ大会冬季大会 秋田県

2025年(令和7年)2月13日～2月16日

○スキー／総監督：藤井宣文

○スキー・ジャイアントスラローム／選手：前本彩友



壮行式(福山市役所1F) 2024年(令和6年)10月

編集後記



企画広報委員となりまして、2年目の藤井です。地元の体育会の役員や、福山市陸上競技協会の理事として 競技会の審判や小・中・高校生の指導者として、活動していました。委員となりまして、様々な種類のスポーツに多くの方々が尽力されていることを知りました。当たり前のことなのですが、以前はその事を実感として感じることが少なかったです。「スポーツは楽しいものです」この事を基本にして、スポーツの力で多くの人が笑顔になり、健康になり、幸せになる。その様な社会を皆さんと共に創っていきたいと考えております。

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

企画広報委員：藤井 康裕

■広報誌／スポ協ふくやまVol.38 2025年(令和7年)3月1日発行

■発 行／公益財団法人福山市スポーツ協会 〒720-0804 福山市緑町2番2号 福山通運ローズアリーナ内
TEL(084)927-9910 FAX(084)927-9913
email : rosearena@city.fukuyama.hiroshima.jp



※紙面の写真は関係者の了解を得て掲載しています。